

最期まで しあわせに生きる 街と医療の使い方

日時：2012年2月18日(土) 14:30~17:00

場所：JTB フォレスタ 多摩市永山 2-17 (京王・小田急永山駅徒歩3分)

人には いつか最期の日がやってきます。

2005年には年間100万人だった死にゆくひとは 2030年には160万人に増えるといわれ
どこで どのように最期を迎えるか 時代は大きな転換期に突入しています。

そんな今だからこそ 本当に 幸せな人生だったと思える 温かな老いと最期のために
街と医療は 共に進んでいかなければなりません。

新たな取り組みもどんどん生まれています。
ちょっとしたコツと 心持ちがあれば
おひとりさまでも 老々さまでも しあわせな時を過ごせる
その日を信じて とともに歩いていきましょう

◇ はじめに 14:30~

◇ 講演 『メディカルタウンの未来』

樋野 興夫 (NPO 法人 がん哲学外来理事長、順天堂大学病理・腫瘍学教授)

◇ パネルディスカッション

『メディカルタウンの未来II ~わが街の工夫~』 15:00~

パネリスト 阿部 裕行 (多摩市市長)

米戸 敏彦 (聖ヶ丘病院院長)

関原 正 (からきだ駅前クリニック院長)

岡本 峰子 (朝日新聞ジャーナリスト学校主任研究員) <順不同>

◇ 質疑応答

◇ おわりに

・ナビゲーター 大池 ひとみ (ひとみタウンケアクリニック院長)

入場無料・申し込み不要

連絡先：042-338-3281 がん哲学外来多摩窓口

主催：NPO 法人 がん哲学外来

後援：多摩市、多摩市医師会

協賛：公益財団法人 正力厚生会

